

「次の選挙で何が問われているのか」 アンケート集計結果



アンケートの概要

<調査の概要>

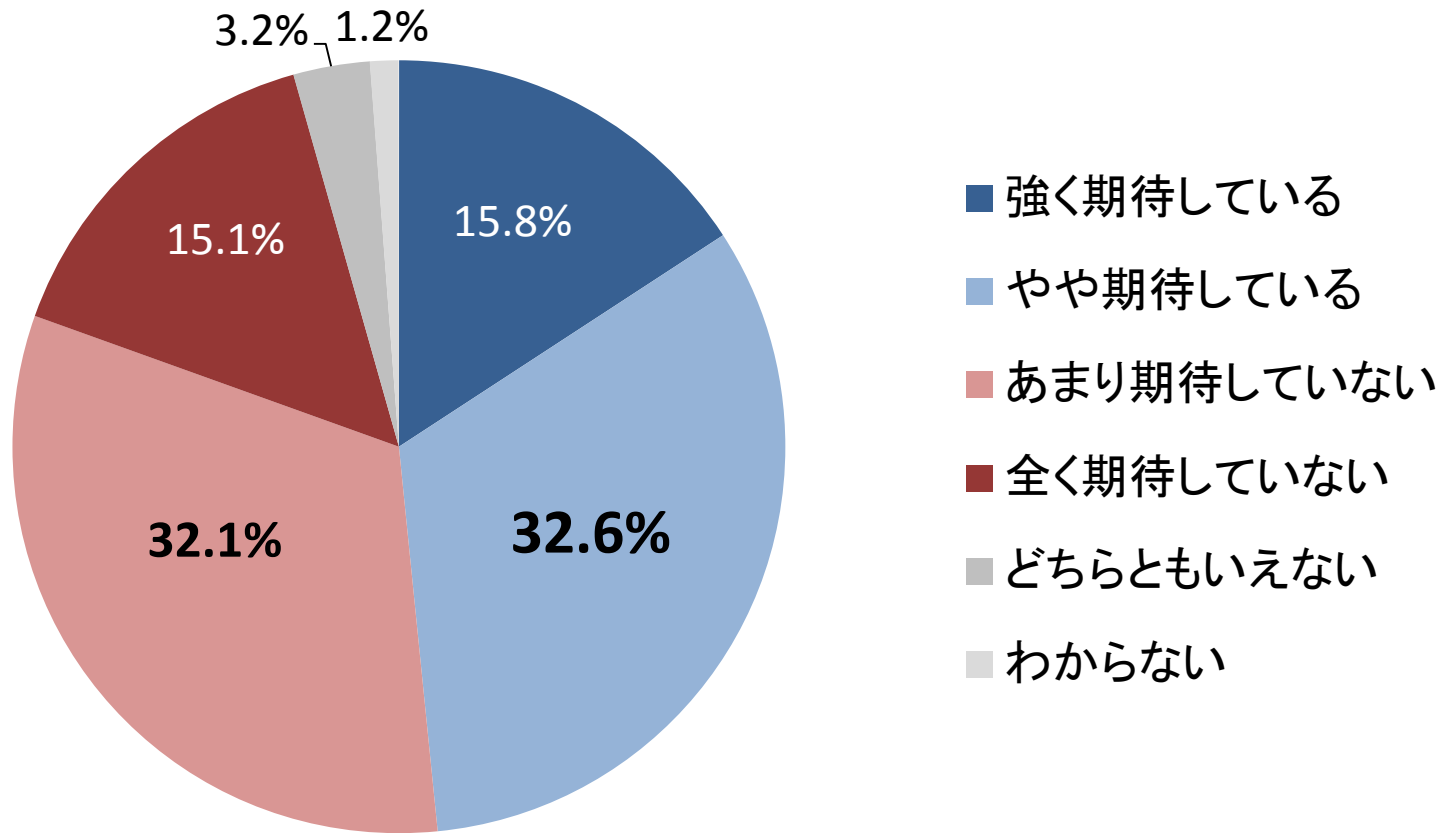
言論NPOの活動にこれまで参加していただいた全国の有識者約人を対象に、2012年9月8日～13日の期間でアンケートの回答を依頼し、回答のあった人の回答内容を分析した。

<回答者の属性>

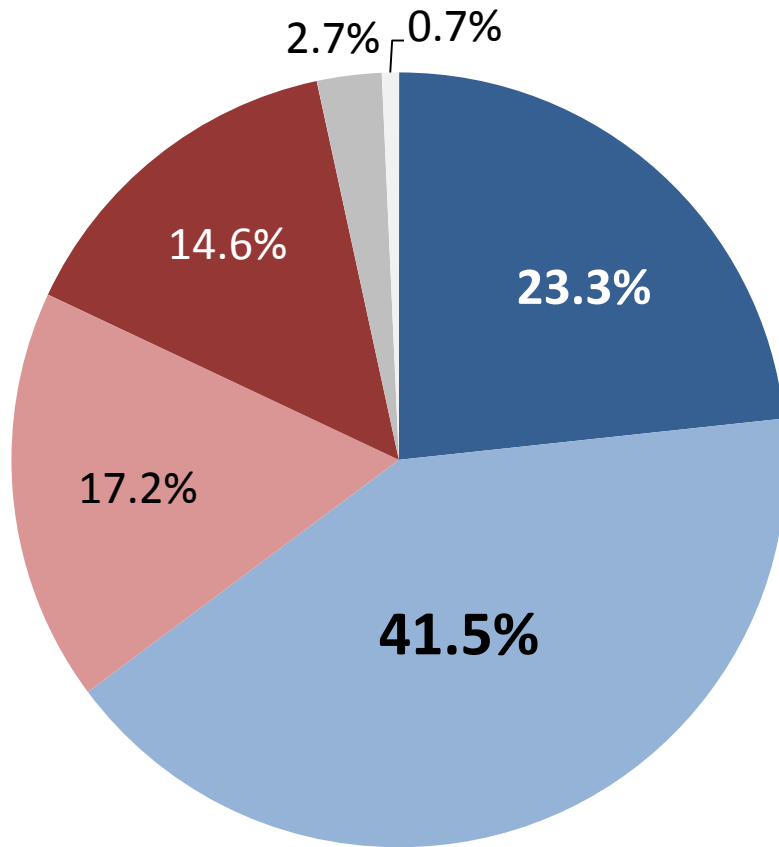
回答数	413	職業	会社役員:17.3%
性別	男性:88.6% 女性:11.4%		会社員:17.8%
年齢	10代:0.0% 20代:4.9% 30代:8.5% 40代:19.5% 50代:27.3% 60代:25.9% 70代:11.2% 80代以上:2.7%		メディア幹部:2.0% メディア:11.0% 国家公務員:3.7% 地方公務員:5.4% 国会議員・秘書・党関係者:0.2% 地方議員・秘書:0.7% 学者・研究者:8.0% NPO・NGO関係者:8.8% 各団体関係者:5.9% 主婦・主夫:2.0% 自営業:4.1% 学生:1.7% その他:11.5%

※各属性で示されている数値以外は無回答の割合。この頁以降、数値は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

問1. あなたは、次の選挙が日本の新しい変化のきっかけになると期待していますか。【単数回答】

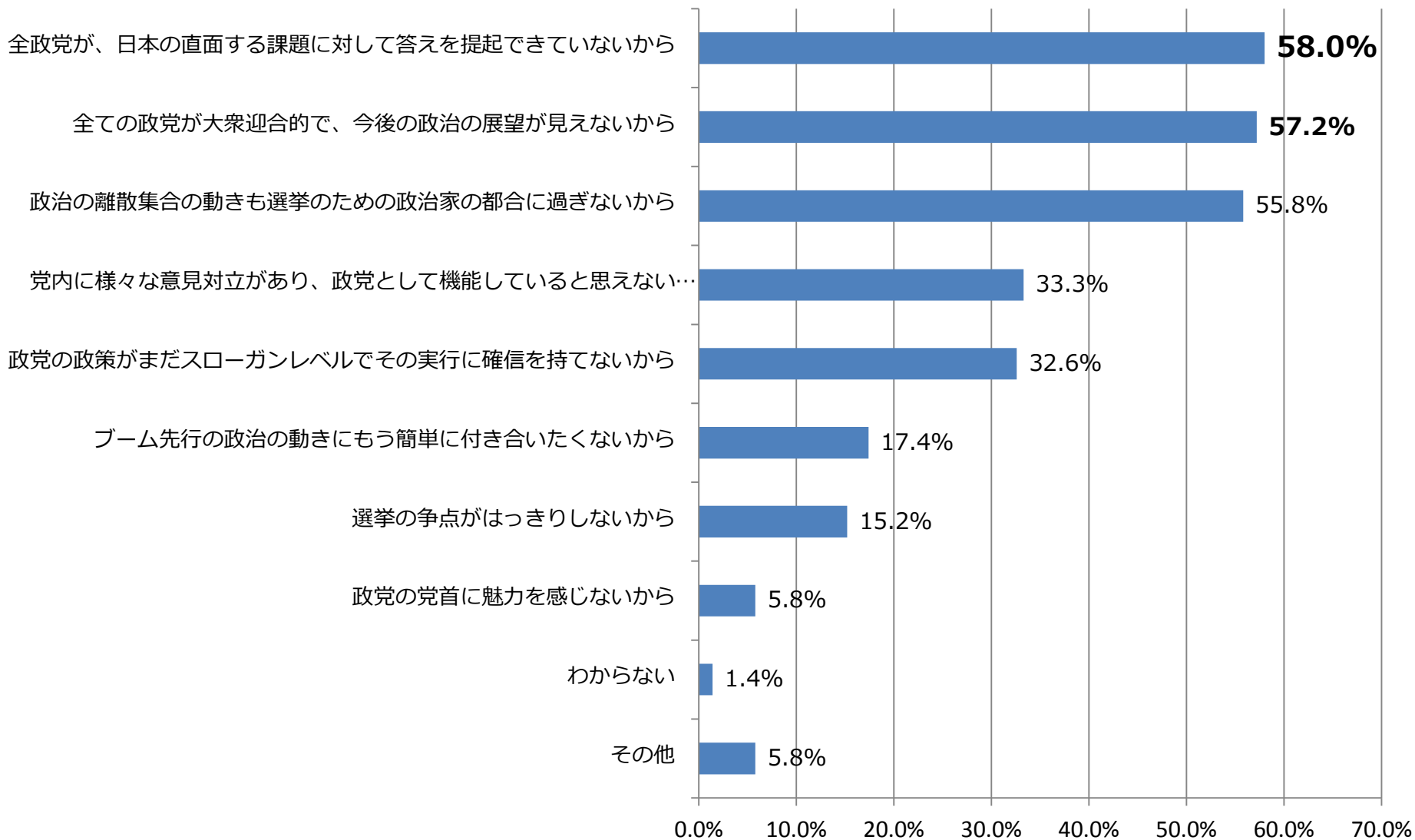


問2. 現在、政党の党首選や、新党結党の動きなどが始まっています。こうした動きを見て、あなたは次の選挙でどの政党を選ぶか、確信をお持ちですか。【単数回答】

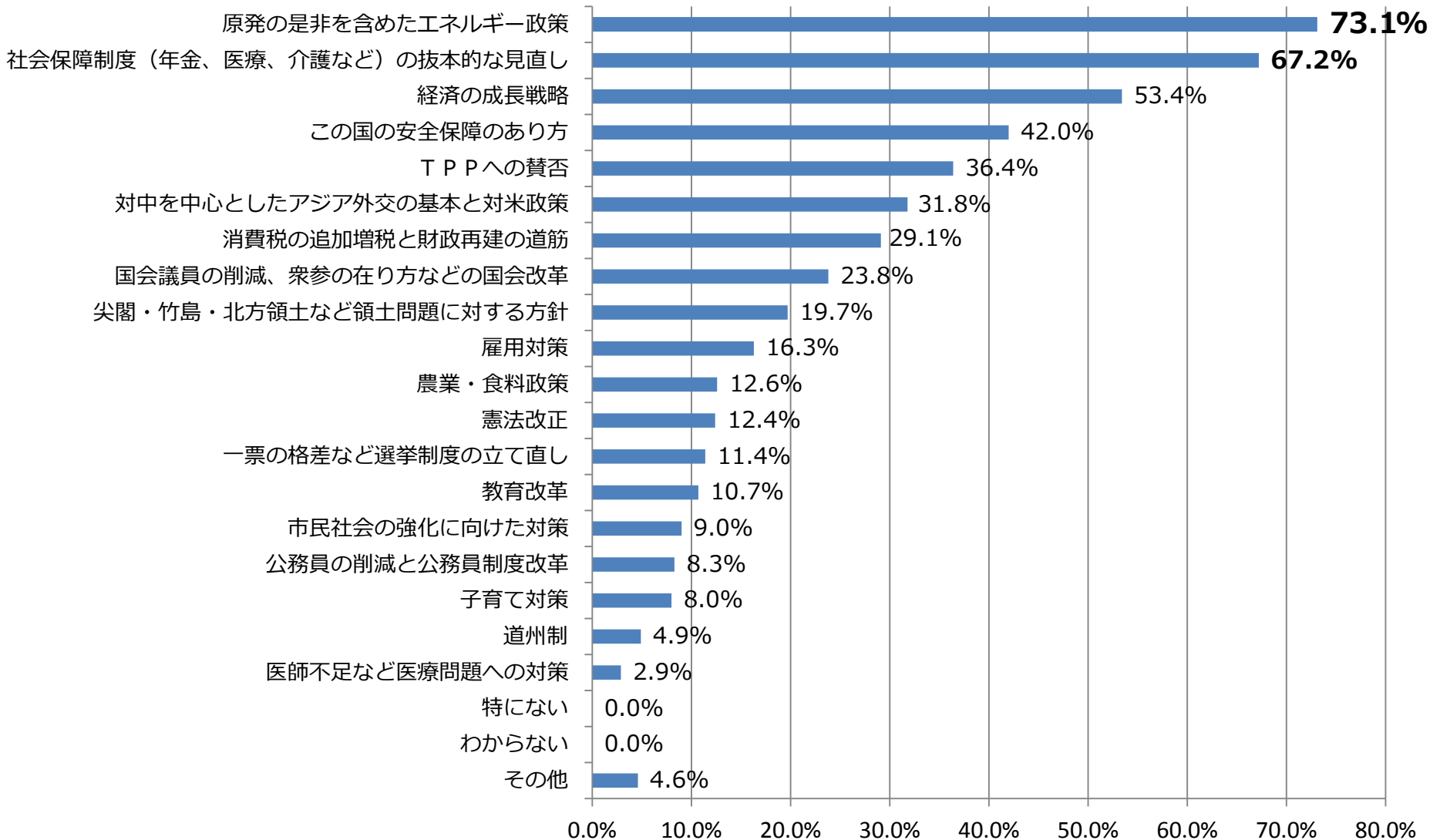


- すでに投票する政党や個人を固めている
- 今は決めていないが、投票日までには選んで決める
- 今回は投票する政党や個人に確信を持っていない
- 選ぶ自信はないが、棄権はしない
- どちらともいえない
- わからない

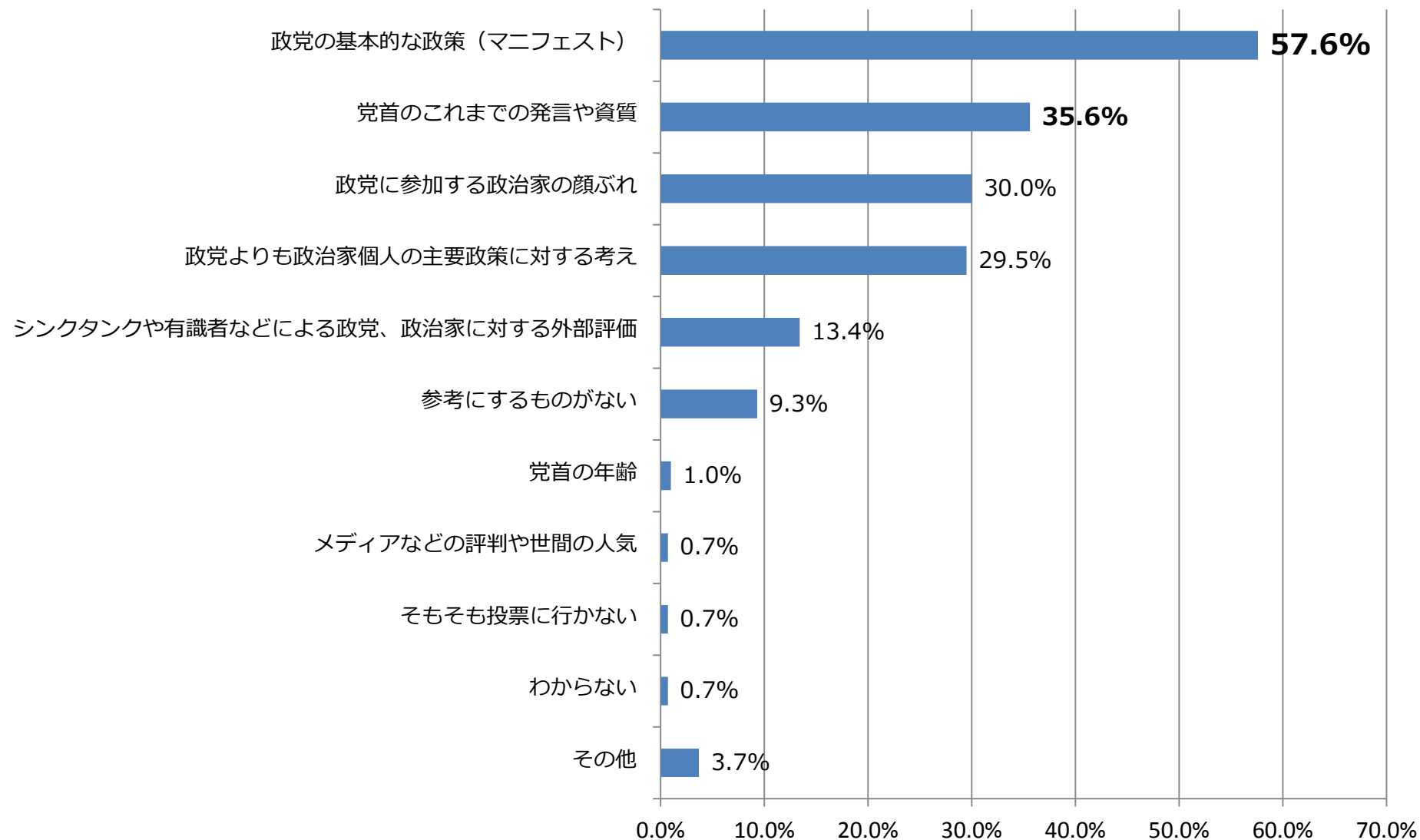
問2SQ. (前問で「今回は投票する政党や個人に確信を持ってない」、「4 選ぶ自信がないが、棄権はしない」と回答した方) その理由は何ですか。【3つまで回答】



問3. 次の選挙で各政党や立候補する政治家が、有権者に対して必ず明らかにしなければならない政策課題、あなたが投票をするときに最重要視する政策は何ですか。【5つまで回答】

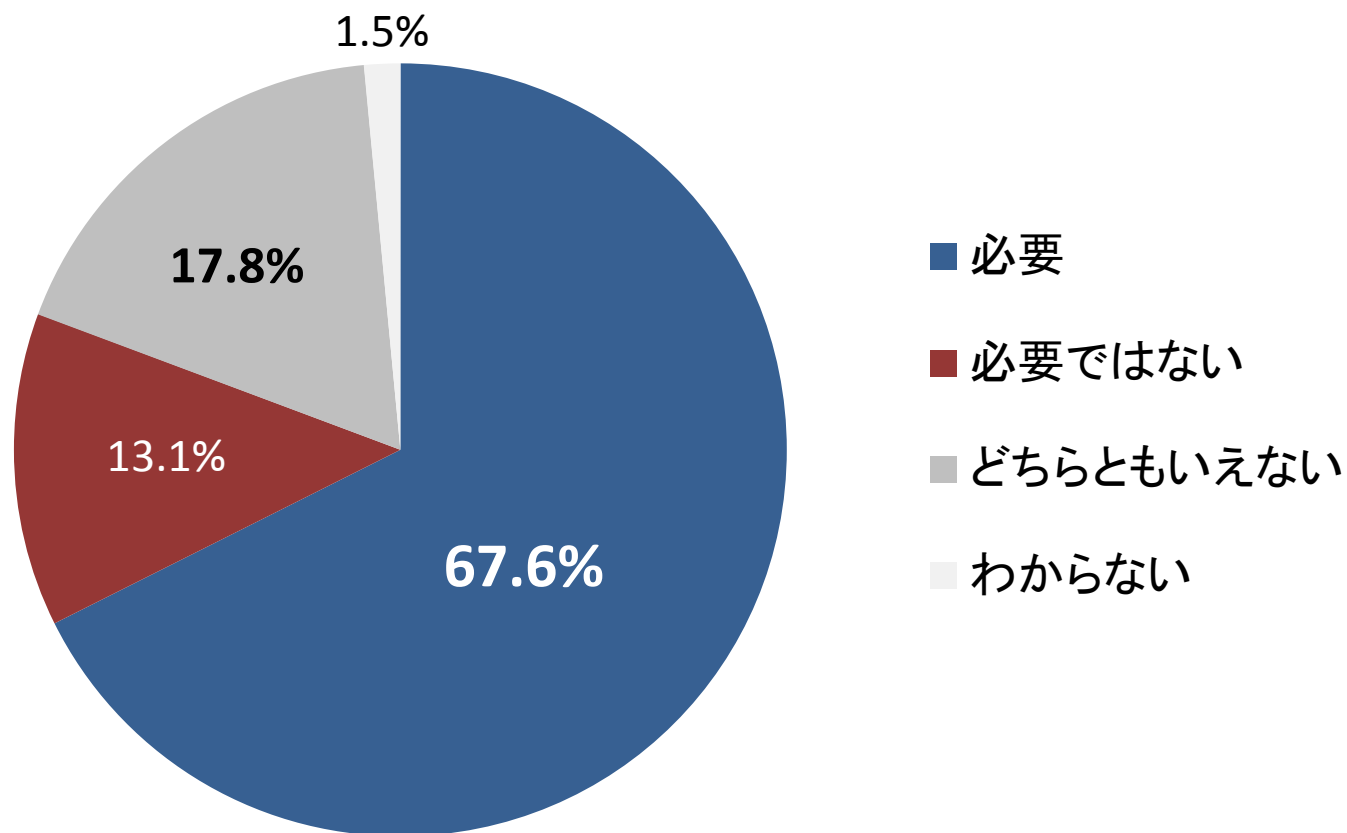


問4. 次の選挙で、あなたは何を参考に投票する予定ですか。 【2つまで回答】



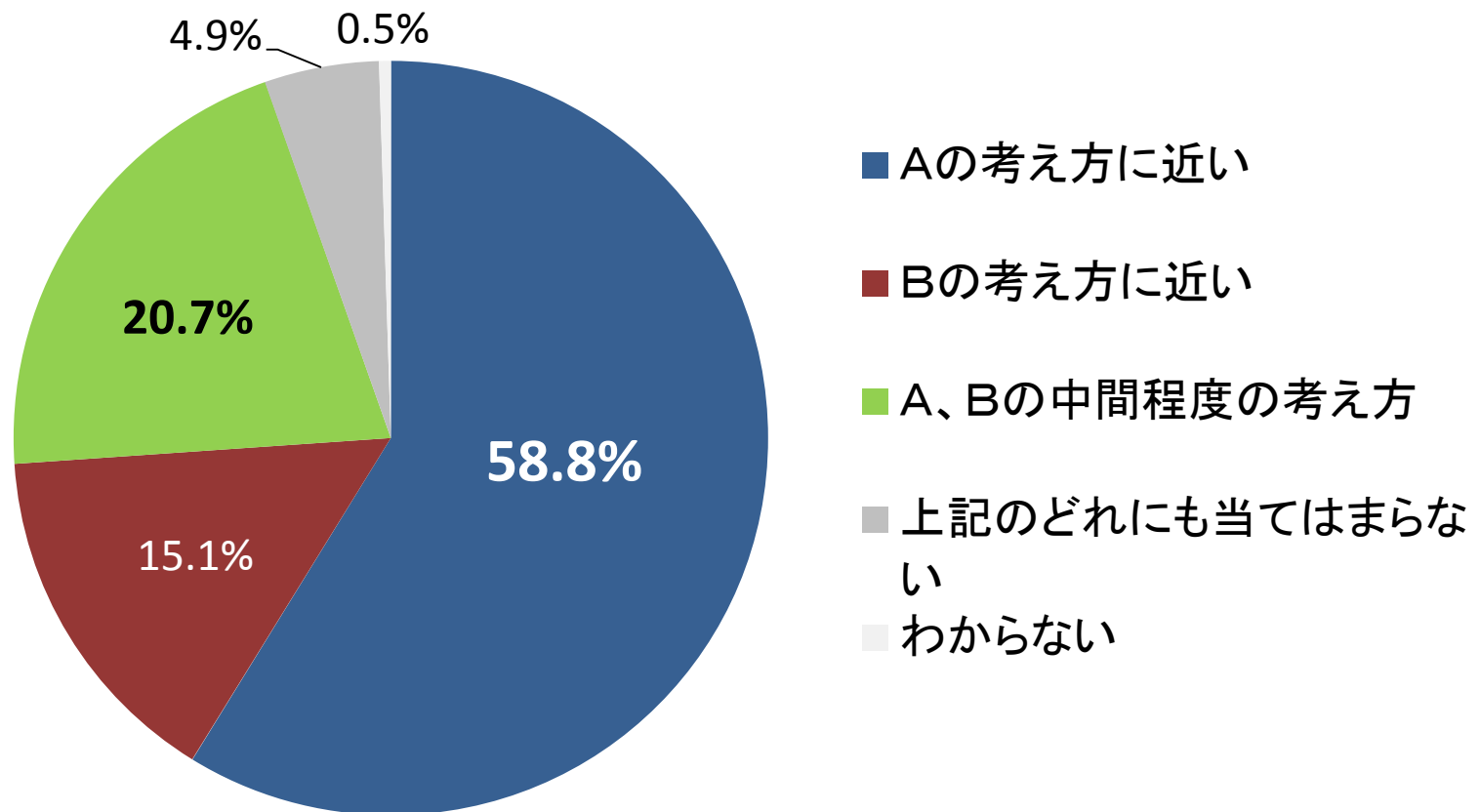
問5. 選挙では政権公約（マニフェスト）に関して、その内容自体が不十分な
こと、また国民に対する十分な説明もないままに大幅に修正されるなど、マニ
フェストが国民に対する約束として機能しておらず、マニフェストをつくるこ
と自体に懐疑的な見解も出始めています。

あなたは、マニフェストを軸とした政治は必要だと思いますか。【単数回答】

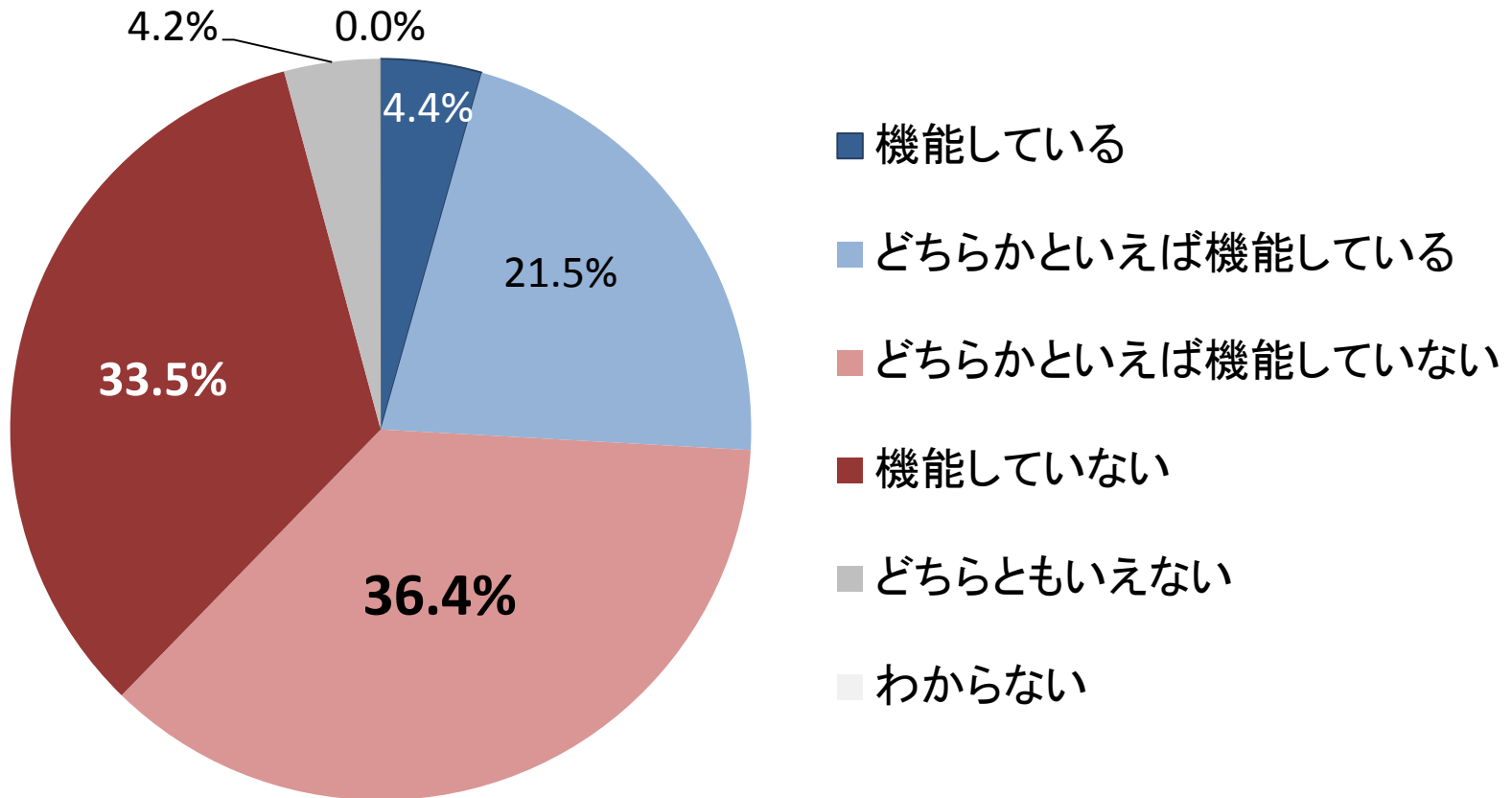


問6. 「選挙」について、あなたの考えは下記のAとBのどちらの考え方に近いですか。【単数回答】

A. 国民との約束の場 B. 白紙委任できる政治家を選ぶ場

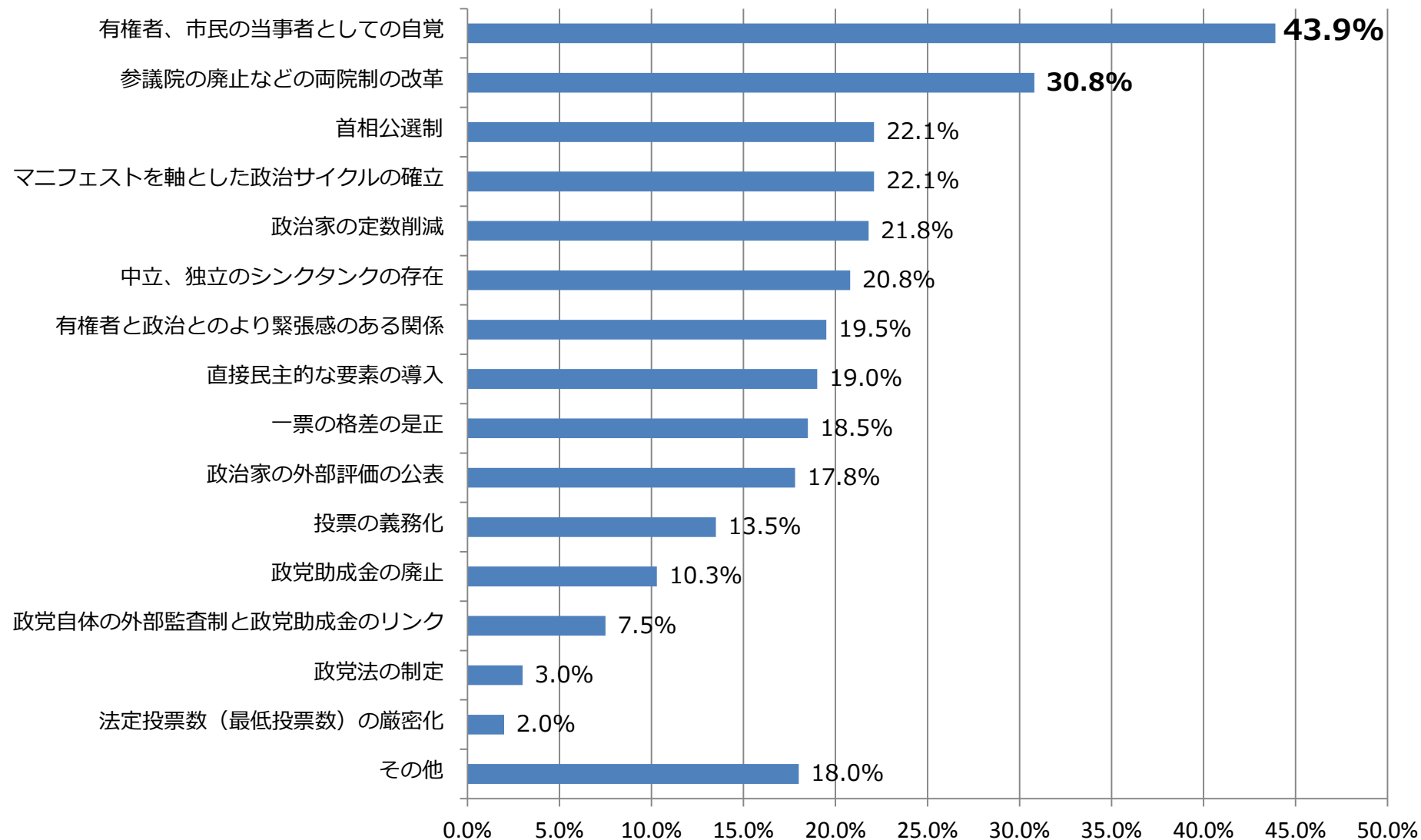


問7. あなたは、「国民が代表を選び、その国民の代表が日本の課題に関する仕事を行う」という民主主義が、この国で機能していると思いますか。【単数回答】

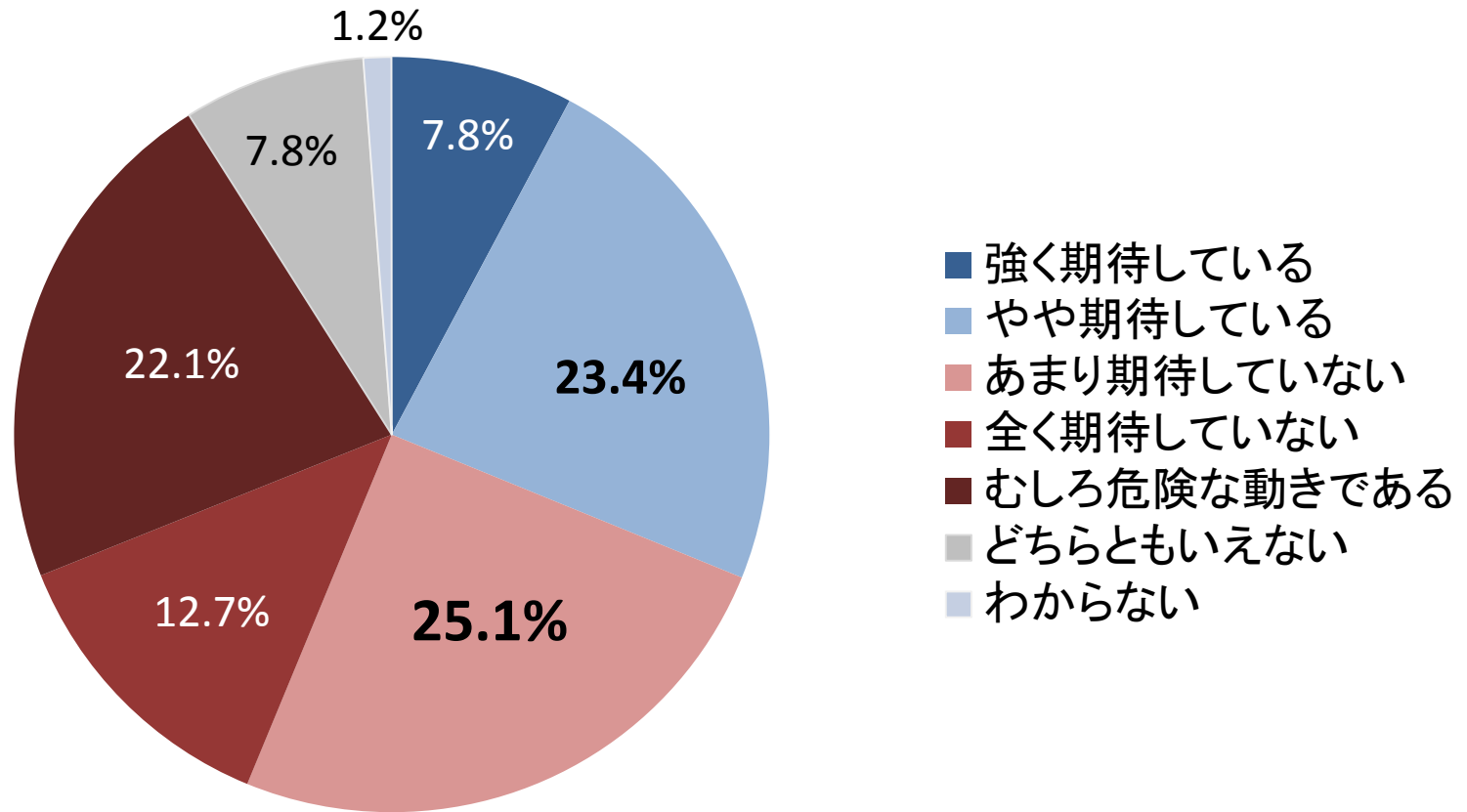


問8. あなたは日本の民主主義を機能させるために、どんなアイデアを持っていますか。【3つまで回答】

©言論NPO



問9. あなたは、「日本維新の会」の動きに期待していますか。
【単数回答】



問10. あなたは、今の日本の政治に変化をもたらす主体として、誰に期待しますか。【単数回答】

